

# リーグ運営要綱

## (目的)

第1条 この運営要綱は（公財）茨城県サッカー協会第1種委員会・社会人連盟のリーグ運営について定めたものである。

## (規約の遵守)

第2条 本会のリーグに参加するチーム、選手等すべての者は「競技運営要綱」及び「リーグ運営要綱」を遵守しなければならない。

## (担当者)

第3条 リーグを運営するためにリーグ運営委員会を設け、次の担当者を設ける。

1. リーグ責任者
2. リーグ運営副責任者
3. リーグ運営委員（各ブロック担当）
4. ブロック幹事
5. チーム運営委員

## (業務分担)

第4条 リーグ運営委員会は、規則別表「業務分掌」に基づく業務を円滑且つ適切に処理するために、各担当者の役割・責任等を定めリーグ運営を実施する。

## (会議)

第5条 1. リーグ運営委員会の開催は、リーグ責任者が招集する。リーグ運営委員会は、リーグ責任者、リーグ運営副責任者、リーグ運営委員で構成する。  
2. リーグ責任者は、リーグ運営副責任者及びリーグ運営委員のいずれかが会議の目的を示してリーグ運営委員会の開催を要求したときは、遅滞なくこれを招集しなければならない。  
3. ブロック幹事等は、リーグ運営委員会の運営、決定事項に対し異議がある場合は、役員会に審議を要請することができる。この場合、役員会の決定事項に従わなければならない。

## (リーグの構成及びチーム数)

第6条 1. リーグは（公財）茨城県サッカー協会の加盟登録団体等の第1種登録チームにより1部、2部、3部で構成する。  
2. リーグを構成するチーム数は、原則として次のとおりとする。

リーグ編成表

リーグ編成	構成ブロック数及びチーム数
1部リーグ	8チームで構成する。
2部リーグ	A, Bの2ブロックとし、それぞれ10チームとする。
3部リーグ	A, B, C, Dの4ブロックとし、登録チーム数を考慮し、チーム数を決定する。

3. リーグを構成するチームは、第14条に定める入れ替え方法に基づき、次年度に変更を生ずることがある。
4. 上記2項によらず、登録チーム数の状況等に応じてリーグを構成するブロック数及びチーム数は、リーグ運営委員会で審議し、役員会で決定・変更することができる。
5. 関東サッカー協会及び関東社会人サッカー大会諸規程に基づいて、関東サッカーリーグに昇格するチームが生じた場合及び関東サッカーリーグより茨城県1部リーグに降格するチームが生じた場合は、当該年度の1部リーグの降格チーム数を調整し、次年度のリーグ編成を8チームとする。
6. 大学チーム数が5チーム以上に達した場合は、リーグ運営委員会及び役員会の審議の後、学生リーグを新たに発足することができる。
7. リーグ運営委員会は次年度のリーグを構成するチームについて、リーグの入替え（昇格・降

格)、ブロックの変更(移動)等を行なった場合は、該当チームに対してその旨を連絡(1ヶ月以内)しなければならない。

8. 組織母体が同一のチームは、リーグには「3 チーム」まで参戦することができる。この場合、選手は年間を通して年度当初に指定した当該チームのみでプレーしなければならない。また、リーグ運営委員会は、1 部リーグを除き、原則として同一ブロックとならないようにチーム編成する。

#### (新規加盟)

- 第7条 1. 新規加盟チームは、3部リーグからとする。  
2. リーグ戦の参加は、リーグ戦開始からとし、途中からの参加は原則として認めない。

#### (組み合わせ及び日程)

- 第8条 1. 組み合わせは、リーグ戦の始まる前月を目途に決定する。  
2. 日程は、1部リーグは4月から10月中旬迄に全日程を終了させる。  
2部リーグは、4月から11月末迄を目途に全日程を終了させる。  
3部リーグは、4月から12月末迄を目途に全日程を終了させる。

#### (リーグ戦方式)

- 第9条 リーグ戦の方式については、次のとおりとする。
- 1) 試合数は、1部、2部、3部ともに2回戦総当りを基本とする。
  - 2) ただし、当該年度始めのブロック会議において、グラウンドの確保、スケジュール等の事由により、当該ブロックにおける試合数及びリーグ戦方式(後期を上位・下位リーグとする等)を任意に変更することができる。この場合、当該リーグ運営委員を通してリーグ責任者にその旨を申し出て、承諾を得る必要がある。
  - 3) 試合時間は、1部、2部は90分(45分ハーフ)、3部は80分(40分ハーフ)とし、ハーフタイムは5分から15分以内とする。
  - 4) 交替要員の登録人数は7名までとし、選手交代はそこから5名までとする。

#### (試合結果)

- 第10条 試合結果は勝ち点制とし、次のとおりとする。
- ・勝利チーム：3点
  - ・引き分け：1点
  - ・敗戦チーム：0点

#### (試合球)

- 第11条 1. 試合球は各チーム1個を持ち寄り、主審が決定する。  
2. 試合球は第1種委員会が指定したモルテン社製ヴァンタッジオ検定5号球とする。

#### (メンバー提出用紙及び選手証の提出)

- 第12条 1. 試合開始30分前にメンバー提出用紙及び選手証をチーム運営委員(審判)に提出する。選手証は交替選手の分も提出する。  
2. メンバー提出用紙には選手及び交替選手7名以内を記入し、チーム運営委員(審判)に提出するとともに相手チームとも交換する。  
3. 選手証を持参していない選手の試合出場はできない。

#### (順位の決定)

- 第13条 リーグ戦の結果により、勝ち点の多い順番に順位をつける。ただし、勝ち点と同じ場合は次の順序に従い決定する。
- 1) ゴールディファレンス(総得点-総失点)が多いチーム
  - 2) 当該チーム対戦成績で勝利したチームが上位
  - 3) 前項によりなお同一であり、かつ順位の決定を必要とする場合(昇格又は降格)は、リーグ運営委員会が決定戦を実施する。順位決定戦は、第3者の場所で1回行い、定められた時間内に決定しないときは20分の延長を1回行う。なお、決しないときはPK戦で決定する。

#### (入替え方法)

- 第14条 1. 1部リーグはリーグ戦の成績により、最下位チームは2部へ降格する。7位のチームは、4. 項に定める入替戦を行い、その結果で残留、降格を決定する。ただし、第6条5項の関東リーグ昇格、降格により、2部への降格チーム数は増減する。この場合は、下記5. 項に従い当該年度において入替え方法を決定し、実施する。
2. 2部リーグはリーグ戦の成績により、A・Bブロックの優勝チームによる1部リーグ昇格戦を行い、勝者は自動昇格する。昇格戦の敗者は、4. 項に定める入替戦を行い、その結果で昇格、残留を決定する。また、下位2チームは3部リーグに降格する。
3. 3部リーグはリーグ戦の成績により、各ブロックの優勝チーム(4チーム)は、2部リーグのA又はBブロックに昇格する。
4. 1部/2部入替戦は、リーグ運営委員会が日時、場所を決定する。試合時間は90分(45分ハーフ)とし、勝者は1部へ、敗者は2部へ、引き分けの場合は1部リーグチームが1部残留とする。
5. 関東リーグ昇格、降格及び脱退チーム等の状況により、第6条2項に定める次年度のリーグ編成のチーム数に増減が生じた場合は、当該年度の上記1. 2. 3. 項の昇格、降格チームについて、対象チーム数やその入替え方法等をリーグ運営委員会で審議し、役員会で決定する。リーグ所属チームはこの決定に従うものとする。

#### (追加登録選手の出場制限)

- 第15条 「競技運営要綱」第4条に定める選手の追加登録を行った選手のリーグ戦及び入替戦への出場は、当該年度の8月31日までに追加登録手続を受理された選手とする。
- なお、それ以降のチームへの選手の追加登録を阻害するものではない。リーグ戦以外の大会等は各々の大会要綱に従い出場選手の登録を行うことになる。

#### (表彰)

- 第16条 1. リーグ戦の成績に基づき公財茨城県サッカー協会第1種委員会より次の表彰を行う。
- ・リーグ戦の優勝チーム 賞状及び記念品
  - ・1部リーグ ベストイレブン、得点王、アシスト王 賞状及び記念品
2. 優秀選手  
リーグ戦の優勝チームの中で最も活躍した選手1名には、(公財)茨城県サッカー協会第1種委員会より賞状及び記念品を贈呈する。

#### (罰則)

- 第17条 1. 本会の加盟団体及び選挙等関係者は本会懲罰規程第1条に関わる違反行為があった場合には、速やかに規律・フェアプレー委員会に報告しなければならない。
2. 前項の違反行為による罰則は(公財)日本サッカー協会懲罰規程により本会懲罰規程第2条及び第3条に従い規律・フェアプレー委員会が決定する。
3. (公財)日本サッカー協会懲罰規程のうち「(別紙) 競技および競技会における懲罰基準」に当たる行為は次の通りである。
- 1) 警告・退場に当たる行為
  - 2) その他の違反行為
- ①試合の没収、放棄、不成立、棄権等
- ・没収試合：試合中の騒乱等で試合が続行できないとマッチコミッショナー、運営責任者、主審との協議で決した場合
  - ・試合放棄：試合中の何らかのトラブルで選手・チームが試合の全部又は一部を放棄した場合
  - ・試合不成立：試合中の天候、地震災害等により試合が続行出来なくなった場合
  - ・試合棄権：試合開始時刻及び試合中に最小競技者数に満たなくなった場合
- ②出場資格の無い選手(自チーム未登録・他チーム登録・出場停止中)の公式試合不正出場(未遂含む)
- ③公文書、選手証等の偽造・変造
- ④器物破損

- ⑤乱闘、喧嘩
- ⑥チームによる違反行為
- ⑦差別

#### 4. その他

- 1) 競技運営要綱及びリーグ運営要綱に著しい違反があった場合には、第1種委員会役員会の審議を経てチーム及び選手等にリーグ戦からの退会を勧告することができる。
- 2) 前 3 項2) ①、②の違反行為がチームの責任である場合には所属リーグの1勝に相当する勝ち点を合計勝ち点から減ずることができる。
- 3) リーグ運営委員会はチーム審判員の遅刻・割当審判活動の不履行やリーグ運営上の諸問題に対し、審議の上、処分する事ができる。

#### (ブロック幹事)

- 第18条 1. ブロック幹事は、当該ブロックの試合日程表の作成、試合結果の集約などの取りまとめを実施する。
2. 試合結果を集約し、当該ブロック担当のリーグ運営委員に報告する。
  3. 当該ブロック担当のリーグ運営委員と連携してリーグ戦に関わる対応事項の計画的かつ円滑な遂行を図る。

#### (チーム運営委員)

- 第19条 1. チーム運営委員は試合開始前までに次の事項を行なう。
- ・グラウンド及び用具の準備状況、状態について点検し、試合運営に支障のないことを確認する。
  - ・試合に登録された選手及び審判員について試合前に選手証及び審判員資格のチェックを行なう。
  - ・ユニフォームに問題ないことを確認する。なお、同色及び類似色の場合、審判と協議し変更の必要がある場合は協議又は主審のコイントスにより変更させる。
  - ・審判から要請があった場合は、関係者で協議の上、対応・対処する。
  - ・試合を行なうことが著しく困難と判断した場合は、ブロック幹事に連絡し、確認のもと試合を中止する。この場合、次の試合予定がある場合は該当する関係者に状況を連絡する。
2. チーム運営委員は試合中、次の事項を行なう。
    - ・試合結果報告書が作成できるよう得点、退場、警告等を記録する。尚、退場者の選手登録番号を記録する。
    - ・両チームのベンチ、応援者の状況を注視し、試合進行に支障があるときは、必要な注意の実施及びその内容を記録報告する。
  3. チーム運営委員は試合終了後、次の事項を行なう。
    - ・試合結果報告書を作成し、審判等の確認を受ける。
    - ・試合結果は、対戦カードのチーム運営委員2名が責任をもってブロック内で定められた方法により翌日迄にブロック幹事、リーグ運営委員に連絡・報告する。
    - ・グラウンド等の後片付け、ゴミ等の処分が適切に終了していることを確認する。

#### (補 則)

- 第20条 1. 審判員の養成、確保
- 1) チーム内には最低3名以上の有資格審判員を有すること。また、リーグ戦における審判のトラブルを出来る限り少なくするため、チームにおける有資格審判員の育成を積極的に行なうこと。
  - 2) ブロック幹事は、リーグ戦開始前までにブロック内で各チームの有資格審判員の状況(3名以上)を確認すること。不足チームには速やかな資格取得を促すこと。なお、この間はブロックで調整し、有資格審判員でリーグ戦を進めること。
2. 県リーグ(1部を除く)及び各種大会における審判員派遣における注意事項

社会人リーグは帯同審判による試合運営を基本としている。しかし、チーム事情によりリーグ運営に支障がでる場合に限り、審判委員会責任者から審判員を紹介することがある。この場合は、審判の派遣依頼は、審判委員会責任者へ3週間前までに依頼を行うこと。

### 3. グラウンド条件による試合の中止の判断

#### 1) 試合の中止の第一決定権はグラウンドの管理者とする。

使用不可能ならその試合担当のチーム運営委員がブロック幹事に報告し、確認を取った上で、中止を関係者に連絡する。

#### 2) 試合の中止の第二決定権は当該試合の担当主審とする。グラウンドの使用許可は出たがラインが引けないなどの難しい状況の場合は、試合担当のチーム運営委員がブロック幹事に報告し、確認を取った上で主審の判断のもと中止を関係者に連絡する。

### 4. GKの不測の交替時の対応（ユニフォームの取り扱いについて）

GKが反則退場又は負傷退場した場合で、登録された選手にGKがいない場合、登録の選手に限りGKとしてプレーすることが出来る。この場合、それまでのGKのユニフォームを使用することが出来る。

### 5. 警告及び退場に係わる連絡

#### 1) ブロック幹事及びリーグ運営委員は、警告及び退場に係わる状況を速やかに把握できるように、ブロック内での連絡方法等について定めること。

#### 2) 退場処分（同一試合警告2枚による退場は除く）があった場合は、当該試合の運営責任者<sup>※1</sup>は「運営責任者緊急報告書」（以下「報告書」という。）を作成し、当日中にリーグ運営委員に提出する。

尚、「報告書」を作成する場合は主審に「報告書」を提出する旨と退場処分理由等を十分に確認すること。

#### 3) 「報告書」の提出を受けたリーグ運営委員は、「報告書」の記載内容が充足されていることを確認したうえで、当該試合の翌日までにはリーグ責任者に「報告書」を提出すること。

#### 4) リーグ責任者は、「報告書」の内容を確認して当該試合の翌々日までには規律・フェアプレー委員会へ「報告書」を提出し、報告する。

### 6. トラブル及び運営面での疑問点

リーグ戦でのトラブル及び運営面での疑問点等が生じたときは、リーグ運営委員（各ブロック担当）へ問い合わせをすること。

### 7. 施設利用上の注意

施設側で定めた期限までに使用許可申請書をグラウンド管理事務所へ提出するとともに、必要な手続きを行うこと。

また、使用後は後片付け等を必ず行うこと。

### 8. 企業等のグラウンド利用について

企業等のグラウンドを利用してリーグ戦を行う場合は、利用基準を厳守して使用すること。

また、使用後は後片付け等を必ず行うこと。

### 9. 試合の棄権について

棄権試合を繰り返し行なったチームは、次年度のリーグ戦の参加を自粛すること。

### 10. リーグ戦における賠償責任

競技運営要綱「第15条賠償」の自己責任を有することをチーム責任者は認識してチームの運営・管理を行うこと。

※1 運営責任者とは：競技運営が円滑に行われているかという視点にたち試合を観察する役割を担う者をいう。

原則として、リーグ責任者、リーグ運営副責任者、リーグ運営委員、ブロック幹事（チーム責任者）が行うこととするが、都合等によりその任務の遂行が困難な場合はブロック内で定められた方法による。但し、当該試合のチーム関係者以外の他チーム責任者等とすることが望ましい。

(付 則)

1. この要綱は、平成5年4月1日より施行する。
2. この要綱は、平成6年4月1日に一部改正し、同日より施行する。
3. この要綱は、平成7年4月1日に一部改正し、同日より施行する。
4. この要綱は、平成8年4月1日に一部改正し、同日より施行する。
5. この要綱は、平成9年4月1日に一部改正し、同日より施行する。
6. この要綱は、平成10年4月1日に一部改正し、同日より施行する。
7. この要綱は、平成11年4月1日に一部改正し、同日より施行する。
8. この要綱は、平成12年4月1日に一部改正し、同日より施行する。
9. この要綱は、平成13年4月1日に一部改正し、同日より施行する。
10. この要綱は、平成15年4月1日に一部改正し、同日より施行する。
11. この要綱は、平成19年4月1日に一部改正し、同日より施行する。
12. この要綱は、平成20年4月1日に一部改正し、同日より施行する。
13. この要綱は、平成21年4月1日に一部改正し、同日より施行する。
14. この要綱は、平成23年4月1日に一部改正し、同日より施行する。
15. この要綱は、平成24年4月1日に一部改正し、同日より施行する。
16. この要綱は、平成26年4月1日に一部改正し、同日より施行する。
17. この要綱は、平成27年4月1日に一部改正し、同日より施行する。
18. この要綱は、平成29年4月1日に一部改正し、同日より施行する。
19. この要綱は、平成30年4月1日に一部改正し、同日より施行する。
20. この要綱は、平成31年4月1日に一部改正し、同日より施行する。
21. この要綱は、令和2年4月1日に一部改正し、同日より施行する。
22. この要綱は、令和3年4月1日に一部改正し、同日より施行する。
23. この要綱は、令和5年4月1日に一部改正し、同日より施行する。